

平成29年度行政事業レビューシート ( 厚生労働省 )

事業名	医療的ケア児支援促進モデル事業			担当部局庁	社会・援護局 障害保健福祉部			作成責任者	
事業開始年度	平成29年度	事業終了 (予定)年度	平成31年度	担当課室	障害福祉課 障害児・発達障害者支援室			高鹿秀明	
会計区分	一般会計								
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	-			関係する計画、 通知等	在宅心身障害児(者)福祉対策費補助金の国庫補助について				
主要政策・施策	障害者施策			主要経費	社会保障				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	医療的ケア児は増加傾向にあるが、日中一時支援及び障害児通所支援事業所等で医療的ケアができる環境整備がされていないことや事業所等に配置されている看護師等の人材が医療的ケア児に対応できない場合が多いこと等により、医療的ケア児の受け入れ場所が少ない状況にある。このため、事業所等において医療的ケア児の受け入れを促進し、必要な支援の提供が可能となる体制を整備し、医療的ケア児の生活の向上を図る。								
事業概要 (5行程度以内。別添可)	医療的ケア児の日中一時支援及び障害児通所支援事業所等での受け入れ促進、事業所等職員への医療的ケアの知識・技能習得のための研修の実施、日中活動の支援体制の構築等、医療的ケア児への必要な支援の提供が可能となる体制を整備する都道府県、市町村(特別区含む)に対して補助を実施する。(補助率 国:1/2、都道府県・市町村(特別区含む)1/2)								
実施方法	補助								
予算額・ 執行額 (単位:百万円)	予算 の 状 況	当初予算	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度要求		
		補正予算	-	-	-	24	31		
		前年度から繰越し	-	-	-	-	-		
		翌年度へ繰越し	-	-	-	-	-		
		予備費等	-	-	-	-	-		
		計	0	0	0	24	31		
	執行額	-	-	-	-	-			
	執行率(%)	-	-	-	-	-			
当初予算+補正予算に対する執行額の割合(%)	#DIV/0!		#DIV/0!		#DIV/0!				
平成29・30年度 予算内訳 (単位:百万円)	歳出予算目	29年度当初予算	30年度要求	主な増減理由					
	児童保護費等補助金	24	31	「新しい日本のための優先課題推進枠」8					
	計	24	31						
成果目標及び 成果実績 (アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標		単位	26年度	27年度	28年度	中間目標 29年度	目標最終年度 -年度
	本事業により自治体におけるモデル的な取組みを5事例収集することを目指す。	医療的ケア児支援促進モデル事業の事業事例数	成果実績	箇所	-	-	-	-	-
			目標値	箇所	-	-	-	5	-
			達成度	%	-	-	-	-	-
根拠として用いた統計・データ名 (出典)	-								
活動指標及び 活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	26年度	27年度	28年度	29年度 活動見込	30年度 活動見込	
	医療的ケア児支援促進モデル事業の実施箇所数	活動実績	箇所	-	-	-	-	-	
		当初見込み	箇所	-	-	-	5	-	
単位当たり コスト	算出根拠		単位	26年度	27年度	28年度	29年度活動見込		
	単位当たりコスト=X/Y	単位当たりコスト	円	-	-	-	9,483,000		
	X:「医療的ケア児支援促進モデル事業の総費用」 Y:「医療的ケア児支援促進モデル事業の実施箇所数」	計算式	/	-	-	-	47,415,000/5		
政策	必要な保健福祉サービスが的確に提供される体制を整備し、障害者の地域における生活を総合的に支援すること								
施策	Ⅷ-1-1 障害者の地域における生活を総合的に支援するため、障害者の生活の場、働く場や地域における支援体制を整備すること								

政策評価	測定指標	定量的指標		単位	26年度	27年度	28年度	中間目標		目標年度		
								-	年度	-	年度	
				実績値	-	-	-	-	-	-	-	-
				目標値	-	-	-	-	-	-	-	-
政策評価	測定指標	定性的指標	目標	目標年度	施策の進捗状況(目標)							
				-								
				-	施策の進捗状況(実績)							
本事業の成果と上位施策・測定指標との関係												
医療的ケア児やその家族が地域で安心して暮らしていけるよう、日中一時支援及び障害児通所支援事業所等において医療的ケア児の受け入れを促進し、必要な支援の提供が可能となる体制を整備することにより、地域生活支援の向上を図ることができると見込んでいる。												
アクション・プログラムとの関係	改革項目	分野:	-	-								
	(第一階層) KPI	KPI (第一階層)		単位	計画開始時 - 年度	28年度	29年度	中間目標 - 年度	目標最終年度 - 年度			
		成果実績	-							-	-	-
		目標値	-	-	-	-	-	-	-			
	達成度	%	-	-	-	-	-	-	-			
	(第二階層) KPI	KPI (第二階層)		単位	計画開始時 - 年度	28年度	29年度	中間目標 - 年度	目標最終年度 - 年度			
		成果実績	-							-	-	-
		目標値	-	-	-	-	-	-	-			
	達成度	%	-	-	-	-	-	-	-			
	本事業の成果と改革項目・KPIとの関係											
-												
事業所管部局による点検・改善												
国費投入の必要性	項目			評価	評価に関する説明							
	事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。			○	本事業については、事業所等での医療的ケア児の受け入れを促進し、必要な支援体制を整備する事業をモデル的に実施し、国が評価等を行い全国的に普及を図るべきものであり、国民や社会のニーズを的確に反映している。							
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。			○	本事業については、事業所等での医療的ケア児の受け入れを促進し、必要な支援体制を整備する事業をモデル的に実施し、国が評価等を行い全国的に普及を図るべきものであるため、国が実施すべき事業である。							
	政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。			○	本事業については事業所等での医療的ケア児の受け入れを促進し、必要な支援体制を整備する事業をモデル的に実施し、全国的に普及を図るべきものであり、ひいては一億総活躍社会の実現に資するものとして優先度の高い事業である。							
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。			-								
	一般競争契約、指名競争契約又は随意契約(企画競争)による支出のうち、一者応札又は一者応募となったものはないか。			無								
	競争性のない随意契約となったものはないか。			無								
	受益者との負担関係は妥当であるか。			-								
	単位当たりコスト等の水準は妥当か。			-								
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。			-								
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。			-								
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)			-								
繰越額が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)			-									
その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われているか。			-									

事業の有効性	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか。		-	-	
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。		-	-	
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		-	-	
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		-	-	
関連事業	関連する事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)			-	
	所管府省名	事業番号	事業名		
	-	-	-		
点検・改善結果	点検結果	-			
	改善の方向性	-			
外部有識者の所見					
点検対象外					
行政事業レビュー推進チームの所見					
事業の必要性、効率性及び有効性の観点から、特段問題ない。					
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況					
-					
備考					
関連する過去のレビューシートの事業番号					
平成22年度	-	平成23年度	-	平成24年度	-
平成25年度	-	平成26年度	-	平成27年度	-
平成28年度	新29-0053				

